



宮崎大学学術情報リポジトリ

University of Miyazaki Academic Repository

南九州看護研究誌. 第21巻第1号2023年 表紙等

メタデータ	言語: ja 出版者: 宮崎医科大学医学部看護学科 公開日: 2023-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10458/0002000005

南九州看護研究誌 投稿規程

宮崎大学医学部看護学科教員の研究活動の活性化並びに研究情報の共有化を図り、教育活動へ還元することを目的として、南九州看護研究誌を刊行する。

1. 投稿資格

投稿資格者は、宮崎大学医学部看護学科の専任教員、また専任教員が含まれる共同研究者、その他、南九州看護研究誌編集委員会(以下、委員会)が投稿を依頼または認めた者とする。

2. 原稿の種類及び内容

1)原稿の種類は次の5分類とする。

- a. 総説:特定のテーマについて、1つまたはそれ以上の学問分野における内外の諸研究を概観し、そのテーマについて、これまでの動向、発展を示し、今後の方向性を示したもの。
- b. 原著:独創性と知見に新しさがあり、研究としての意義が認められること。及び、研究目的、方法、結果、考察など論文としての形式が整い、主張が明確に示されているもの。
- c. 研究報告:内容的に原著には及ばないが、学術的發展に寄与すると判断されることから、研究としての意義があると認められるもの。
- d. 資料:研究上重要な見解や記録を示しており、資料的価値のあるもの。教育活動報告・看護実践報告などを含む。
- e. その他:海外研修レポート、主催した地域貢献等の紹介等々、委員会が認めたもの。

2)上記は、他誌に発表されていないものとする。重複投稿は禁止する。

3)原稿は和文または英文とする。

3. 倫理的配慮

人および動物が対象の研究は、倫理的な配慮について、その旨を本文中に明記すること。

4. 原稿等の提出および受理

1)投稿原稿は、下記のファイル形式で作成し、著者名・所属などの著者情報を含んだ原本ならびに著者名・所属などの著者情報を削除した査読用の両方を委員会のメールアドレスに添付書類として送付する。

【ファイル形式】

本文ファイル:「doc, docx」ならびに「pdf」

図表ファイル:「doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx, xls, xlsx」ならびに「pdf」

※ファイル作成の際の注意点

ファイルプロパティに含まれる作成者等の投稿者を特定できる情報は、あらかじめ削除して提出する。

【南九州看護研究誌編集委員会 E-mail】

kango_kenkyushi@med.miyazaki-u.ac.jp

2)投稿原稿の採択が決定したときには、最終原稿(①本文ファイル、②図表ファイル)を、委員会にメールで提出する。

3)提出時には別に定めるチェックリストを用いて原稿の点検・確認を行い、原稿に添付する。

5. 査読並びに採択

1)原稿の採否は、査読を経て決定される。

- 2) 原稿の査読は、2名の査読者によって2回まで行うことを原則とするが、原稿の種類を変更した場合はこの限りではない。ただし、「e. その他」は原則として査読は行わない。なお、査読者の名前は公表しない。
- 3) 査読者間の意見に差異が著しい場合、委員会は、査読者間の調整を行うことができる。

6. 著者校正

原則として、著者による校正は2回までとする。校正の際の加筆・変更は原則として認めない。

7. 原稿執筆要領

- 1) 原稿規定枚数および抄録等の規定頁数は、要旨、図、表、写真等を含め、下記の表に規定する。ただし、投稿者からの申し出により、委員会が認めた場合は規定枚数を超えることができる。

原稿 種類	表 原稿の規定枚数ならびに形式		抄録		備考
	枚数(字数) 以内	枚数(words) 以内	和文	英文	
	和文の場合	英文の場合	(400字程度)	(300words程度)	
総説	8(12,000)	10(3,000)	○	○	
原著	10(16,000)	13(4,000)	○	○	
研究報告	8(12,000)	10(3,000)	○	○	抄録は和英どちらかの一方
資料	7(10,000)	8(2,500)	○	—	抄録は本文が英文の場合は英文で可
その他	7(10,000)	8(2,500)	—	—	ランニングタイトルは記載自由

2) 原稿の形式

- 原稿は、A4判の用紙を用いて、左右余白25mm、上下余白25mmをとり、ワープロで作成する。
- 和文原稿は40字×40行(1,600字)とし、文字のフォントは明朝、サイズは10.5ポイントとする。英文原稿では、文字のフォントはTimes New Roman、サイズは11ポイントとし、1枚当たり30行(300~360words)とし、適切な行間をあける。
- 図表等は、1点につき400字に数える。
- 原稿には、頁番号を付与する。
- 表紙には、表題・著者名(全員のフルネーム、責任著者に※をつける)・所属(講座まで)・キーワード(5語以内)を日本語および英語(小文字)で記載する。また、ランニングタイトルと原稿の種類および図・表・写真の数を記す。ランニングタイトルは、25文字程度とする。

3) 本文

- 原則として、I. 緒言(はじめに)、II. 方法、III. 結果、IV. 考察、V. 結語(おわりに)の順とする。
- 漢字は必要ある場合を除き当用漢字を用い、仮名は現代仮づかい、送り仮名を用い、楷書で記述する。
- 英数字は半角とし、数字は算用数字、度量衡の単位はm,cm,g,mg,ml,℃等を用いる。
- 字体をイタリックにするところはその下に線を引くこと。
- 外国人名、地名および適当な訳語のない外国語は原語もしくは片仮名で記載すること。

4) 図、表、写真

- 図・表・写真は明瞭なものとする。
- 表の罫線は横線のみとする。
- 図・表・写真は余白に図1、表1、写真1等の番号とタイトルおよび著者名をつけ、本文とは別に添付すること。
- 図・表・写真の挿入については、本文中の欄外余白に挿入場所を赤字で指定する。

5) 文献

- a. 本文中に著者名, 発行年を括弧表示する。
- b. 文献は著者名のアルファベット順に列記する。
- c. 文献の記載は, 下記の記載形式にしたがうこととする。
- d. 著者名は3名を超える場合は3名を記載し, それ以上は「他」と省略する。

【雑誌】著者名(西暦発行年):論文表題, 雑誌名, 巻(号), 始頁 - 終頁

山田太郎, 看護花子, 宮崎ひむか, 他(2002) :社会的支援が必要なハイリスク状態にある高齢入院患者の特徴, 南九州看護研究誌, 1(1), 32 - 38

Yamada,T., kango H., Miyazaki H. et al(2002):Characteristics of elderly inpatients at high risk of needing supportive social service, The South KyusyuJournal of Nursing,1(1),32-38

【単行本】

・著者名(西暦発行年):書名, 始頁 - 終頁, 出版社名, 発行地

研究太郎(1995):看護基礎科学入門,23-52,研究学会出版, 東京

・著者名(西暦発行年):表題, 編集者名(編), 書名, 始頁 - 終頁, 出版社名, 発行地

研究花子(1998):不眠の看護, 日本太郎, 看護花子(編):臨床看護学Ⅱ, 123 - 146, 研究学会出版, 東京

Kimura,H.(1996):An approach to the study of pressure sore, In:Suzuki, H.et al.(Eds): Clinical Nursing Intervention,236-265, Nihon Academic Press, New York

【翻訳本】著者名(原書西暦発行年)／訳者名(訳本西暦発行年):書名, 頁, 出版社名, 発行地

Fawcett,J.(1993)／太田喜久子, 筒井真優美(2001):看護理論の分析と評価, 169, 廣川書店, 東京

8. 著作権

著作権は委員会に帰属する。ただし, 本誌に掲載された著作の著者が掲載著作を利用する限りにおいては委員会の許可を必要としないものとする。

9. 著者負担費用

別刷及び図・表・写真の作成に要する経費については, 著者負担とする。

附則

この規定の改正は, 2003年9月17日から施行する。

この規定の改正は, 2004年8月19日から施行する。

この規定の改正は, 2005年6月20日から施行する。

この規定の改正は, 2006年5月16日から施行する。

この規定の改正は, 2008年6月24日から施行する。

この規程の改正は, 2012年7月17日から施行する。

この規程の改正は, 2014年11月18日から施行する。

この規程の改正は, 2015年6月16日から施行する。

この規程の改正は, 2020年6月16日から施行する。

この規程の改正は, 2022年5月17日から施行する。

編集後記

未曾有の新型コロナウイルス感染症の拡大から3年が過ぎ、5月8日から「5類感染症」に引き下げることになりました。この間、宮崎大学でも様々な工夫を凝らして、学部教育のレベルの維持を図ってきました。

一方で、研究に関しては、研究フィールドである医療施設に立ち入ることができない、研究の対象者と接触できない等の制限の中で、研究を遂行しなくてはいけませんでした。このような状況の中で、今年度の本研究誌には、原著論文1編と研究報告1編を掲載することができました。掲載数は満足できるものではありませんが、この結果は、多くの看護学科教員が、日本の学会誌や英文 Journal へ投稿された結果ではないかと推測しております。

ポストコロナを迎えるにあたって、宮崎大学看護学科教員の皆様の研究への意識が益々高まることを祈念いたします。

金子 政時

研究誌委員

委員長 金子 政時

副委員長 吉永 砂織

大川百合子

南九州看護研究誌 第21巻 第1号

令和5年3月31日発行

発行所 宮崎大学医学部看護学科

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200 番地

印刷所 株式会社 ながと

〒880-0862 宮崎市潮見町 134 番地 1
